

活用調査表

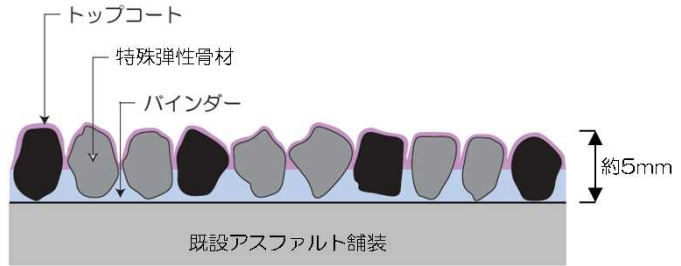
様式6

| | |
|--|---------|
| 技術名 既設密粒度舗装対応型凍結抑制舗装「アイストール」 | 登録 No. |
| | 26D1003 |

| | |
|-------------|-------------------------------|
| 施工内容 | |
| 施工年度 | 平成26年度 |
| 発注機関 | 上越地域振興局地域整備部 上越東維持管理事務所 |
| 工事名 | 一般国道405号 県単舗装道補修(補正)凍結抑制舗装 工事 |
| 施工地 | 上越市大島区菖蒲 地内 |
| 施工数量 | A=112m ² |

新技術の概要
 特殊弾性骨材を舗装表面に固着させた表面処理工法による物理系凍結抑制舗装。路面凍結時に車両が通行すると特殊弾性骨材がその荷重でたわむため、氷板のはく離・破碎が促進される。この効果によって冬期道路交通の安全確保と除雪効率の向上が期待できる。

●アイストール断面



●施工状況



バインダー塗布状況

骨材散布状況

トライアル工事での評価結果

| | | |
|----------|---|---|
| 比較した従来技術 | ゴム粒子入り凍結抑制舗装 | |
| 項目 | 評価 | 評価内容 |
| 経済性 | ◎ | 本施工規模の場合、従来技術より約30%向上。 |
| 工程 | □ | 本施工規模の場合、同程度。 |
| 品質出来形 | □ | 従来技術と同程度。 |
| 安全性 | ◎ | 人力施工のため、重機災害の危険性がなく、安全性は向上。 |
| 施工性 | □ | 従来技術と同程度。 |
| 環境 | ◎ | 重機を使用しないため、騒音等は減少。また、既設舗装を有効利用できるため、廃材が発生しない。 |
| その他 | 人力施工のため、小規模施工が可能であり、交差点部、幅員狭小箇所等に適している。 | |

◎:優れている ○:やや優れている
 □:従来技術と比べて同程度
 △:やや劣っている ×:劣っている

| | |
|---------|--|
| 活用上の留意点 | |
|---------|--|

●完了写真



遠景

アイストールの表面

●凍結抑制効果



□:アイストール施工箇所

一般の舗装(密粒)

新技術問い合わせ先

| | |
|------|--------------|
| 会社名 | 本間道路株式会社 |
| 所属部課 | 技術部技術課 |
| 担当者 | 土佐 啓幸 |
| TEL | 025-222-5611 |